



キュウリ編



病害虫注意報
2018年10月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

定植時・生育初期の防除

定植時おすすめ剤

粒剤は2~3週間効果が持続するので、害虫防除にとっても有効です。
アブラムシ類・コナジラミ類・ミナミキイロアザミウマはウイルス病を媒介します。
ウイルス病は一度感染すると治らないので、害虫の防除を徹底しましょう！
また、物理面から赤色防虫ネットの展開をおすすめします！



	薬剤名	使用量/倍率	使用時期	使用回数	アザミウマ類	コナジラミ類	アブラムシ類	その他
粒剤	ベストガード粒剤	育苗期：1g/株 定植時：1~2g/株	育苗期・定植時	育苗期及び定植時 合わせて1回	ミナミキイロ ○定植時	○	○	-
	アルバリン粒剤	1~2g/株	育苗期・定植時	育苗期及び定植時 合わせて1回	○ 定植時2g/株	○	○ 育苗期1g/株 定植時1~2g/株	ハダニ類○ 2g/株
灌注	モベントフロアブル	500倍 25~50ml/株 株元灌注※	育苗期後半	1回	○ 50ml/株	○	○	ハダニ類○ 50ml/株
	ベリマークSC	薬量：25ml/400株 水量：10~20L/400株	育苗期後半~ 定植当日	1回	○	○	○	ハダニ類○

※モベントフロアブルの灌注は葉にかからないようにして下さい。プラグ苗やセル苗、軟弱徒長気味の苗も使用を避けてください。

お薦め処理法
定植5~7日前に

灌注専用剤

ベリマークSC



灌注処理に
プラス！



ファイトオーツ

1000倍

肥料登録
生第
83241号
同時灌注で、暑さによる根傷み軽減+根の
充実+徒長防止を狙って

定植後おすすめローテーション

予 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類
うどんこ病・灰色かび病

ダントツ水溶剤 2,000~4,000倍 前日/3回
セレナーデ水和剤 500~1000倍 発病前~発病初期まで/回数制限なし

予 コナジラミ類、アブラムシ類
ウリハムシ、ウリハムシ アザミウマ類
黒星病・べと病・うどんこ病・炭疽病
褐斑病・灰色かび病

予・治 コナジラミ類
うどんこ病

モスピラン顆粒水溶剤 2,000~4,000倍 前日/3回
(ウリハムシ 4,000倍、ウリハムシ・コナジラミ類 2,000倍)
ダコニール1000 1000倍 前日/8回

パルミノ 2,000倍 前日/3回

予 コナジラミ類
アブラムシ類・ハダニ類
アザミウマ類
うどんこ病
褐斑病・炭疽病
灰色かび病

モベントフロアブル 2,000倍 前日/3回
ベルコート水和剤 2,000~4,000倍 前日/7回 (褐斑病 2,000倍)

うどんこ病・灰色かび病で
お困りの場合の予防剤

セレナーデ 水和剤

農林水産省登録：第23046号

成分：パチルス ズブチルス
QST-713株の生芽胞
・適用作物：野菜類登録
・適用病害：うどんこ病 灰色かび病
・希釈倍率：500倍
・使用回数：制限なし
・使用方法：散布(上澄液)

注：上澄み液の調剤方法
散布液濃度より10倍濃い薬液を調剤。
攪拌後3~5分程度静置後上澄み液を
採取し10倍に希釈後使用

おすすめ資材

スムーズな活着に

100g~150g/10aまたは
2000~3000倍灌水で
7日~14日おきの使用を
お勧めします！